

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330312052	保育の心理学 Developmental Psychology	信太 寿理			2	必修	1後期

科目の概要

現代の子どもの生活問題に対する認識及び、専門的技術・技能を身につけ、自立した社会人として常に自己研鑽に取り組み、四大精神・社会人基礎力・pisa型学力も習得した教育者の育成を目指す (DP1, 5)。
 そのために、この科目では、人の発達について、どのように発達するのかを特に子ども（主に乳幼児期）を中心に概観する。
 さらに、発達を身体と運動、言語、知能と思考、気質、遊び、道徳性、自己の側面から学ぶ。さまざまな側面から発達を学ぶことで、人（特に子ども）の発達と日常生活における子育て支援について多面的な視点から理解する (DP3, 4)。

学修内容	到達目標
① 乳幼児の発達について、認知・言語・情動などの視点から理解する。 ② 子どもの発達に沿った、遊びについて理解する。 ③ 社会的な視点での発達の理解をすることができる。 ④ 子どもの発達を活かした保育実践を考えることができる。	① 乳幼児の認知・言語・情動などがいつ・どのように発達するのか理解している。 ② 子どもの発達に合った、遊びを考えることができる。 ③ 社会の中で、どのように発達してゆくのか理解している。 ④ 子どもの発達の成長を促進させたり、発達の課題を克服するような保育実践を考えたりすることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	教科書・文献を使って興味のあることを調べるなどの自己学修をすることができる。
	働きかけ力	グループワーク時など、相手の意見に興味を持つことができる。
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	学習の中でこれからの保育・教育に必要な課題について、客観的に見つけ、考えることができる。
	計画力	予習・復習・小テストなど計画を立てて学習することができる。
	創造力	
チームで働く力	発信力	自分の考えや意見を、的確な文章などで表現できる。
	傾聴力	グループワークなどで、自分の意見を返すだけでなく、相手の話の中から、「確かに/なるほど」思ったことについて、自分の考えや意見を修正することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義や他者の受講に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教科書：「保育の心理学 演習ブック」松本峰雄監修 ミネルヴァ書房

他科目との関連、資格との関連

「保育の心理学」は、「教育心理学」で獲得した知識を活用する。また、その後に履修する「教育相談（カウンセリングを含む。）」、「子ども家庭支援の心理学」の基礎となる科目でもある。

資格：保育士

学修上の助言	受講生とのルール
予習復習が毎回記載されているが、ただテキストを読むだけでなく、わからない単語を振り返ったり、自分の子どもの頃と照らし合わせながら考えること。グループワークなどは、自分のためにも、自分以外のメンバーのためにも、積極的に参加すること。	保育・教育現場において、本講義の内容をどのように生かすことができるのか、常に念頭に置きながら受講してほしい。自分の子どもの頃を振り返りながら、聞いてもらいたい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 最終評価は筆記試験で行う 評価にあたって重視する観点は、以下の2点である。①講義内で扱った用語・理論・概念が理解できているか、②講義内扱った理論を保育・教育の実践にあてはめて考えることができているか pisa型学力の評価方法について <ul style="list-style-type: none"> 知識の獲得（発達心理学的概念の理解・用語の理解）：60% 知識の活用（発達心理学的概念を用いた事例の活用の試み）：30% 知識の解決（発達心理学的概念を用いた事例の具体的な提案）：10% 	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
	平常評価	小テスト		10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 授業の途中で、小テストを実施する（webでの実施予定） 評価にあたって重視する観点は、実施時点までの講義で扱った用語・理論・概念が理解できているか pisa型学力の評価方法について <ul style="list-style-type: none"> 知識の獲得（発達心理学的概念の理解・用語の理解）：90% 知識の活用（発達心理学的概念を用いた事例の活用の試み）：5% 知識の解決（発達心理学的概念を用いた事例の具体的な提案）：5%
					②		
					③	✓	
					④		
		レポート		30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の授業の終わりに、講義内で用いた用語・概念の確認や、考えを問いたり、ワークの感想や疑問を記す小レポートを課す。 評価にあたって重視する観点は、毎回の授業について理解ができていたか、意欲的に講義に取り組むことができているか 授業への疑問は、教員が翌回の初めに可能な限りフィードバックを行う。 pisa型学力の評価方法について <ul style="list-style-type: none"> 知識の獲得（発達心理学的概念の理解・用語の理解）：60% 知識の活用（発達心理学的概念を用いた事例の活用の試み）：30% 知識の解決（発達心理学的概念を用いた事例の具体的な提案）：10%
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①		
②							
③							
④	✓						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> （主体性）講義に対して、積極的に学ぶことができる。（課題発見力）毎回の講義について自分なりに疑問を見つけることができる。 （創造力）習得した理論や概念を用いて、自分なりの考えを持つことができる。 （発信力）自分の意見を述べたり、発表することができる。 （傾聴力）あいづちやうなずきなど、相手の話を聞く姿勢ができている。 （規律性）遅刻、私語をせず、スムーズな授業進行に協力できる。 		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>テキスト以外の文献を主体的に調べ、課題に対して積極的かつ柔軟に取り組むことができる。また、他者の意見に耳を傾けつつ、自分の意見を他者に分かりやすく伝えられることができる。</p> <p>秀については、用語や理論が習得できているだけでなく、実際の保育や教育の中に当てはめて考えることができ、その考えを文章などで表現できる。</p> <p>上記が十分に身につくのであればS、ある程度身につくのであればA</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の小レポートを通して、用語や概念、ワークといった授業内容を振り返ることができる。 グループワークなどの課題には、わからない点があっても一生懸命に参加することができる。 わからない点をそのままにせず、調べたり、教員や友人などに聞いて解決することができる。 <p>上記がほぼできていればB、1-2つ程度であればC</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	イントロダクション 子どもの発達を理解することの意義 子どもの発達を理解することの意義を理解する	講義	授業の目的を理解している 授業方法や授業の進め方を理解している 今日のポイントについて具体例で理解している(子どもの発達を理解することの意義を理解している)	予習: シラバスとテキストp10~25を読んでくる。 復習: おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	子どもの発達と環境 子どもの発達と環境についての理論を理解する	講義 ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	今日のポイントを理解している(子どもの発達と環境の基礎について理解している)	予習: テキストp26-37を読み、今日のポイントを確認する。 復習: おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する。 *PCRシートはgoogle classroom及びgoogle formで実施・配布する予定です。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	発達に関する理論 発達に関する主要な理論を理解する	講義 ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	今日のポイントを理解している(発達に関する理論について、フロイトやピアジェ、エリクソンなどがあることを理解している)	予習: テキストp38-47を読み、今日のポイントを確認する。 復習: おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	子ども観と保育観 子ども観と保育観について理解する	講義 ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	今日のポイントを理解している(子ども観についての理解と、保育について理解している)	予習: テキストp48-55を読み、今日のポイントを確認する。 復習: おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する。 *PCRシートはgoogle classroom及びgoogle formで実施・配布する予定です。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	社会情動的発達 社会情動的発達とは何か、その主要な理論について理解する	講義 ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	今日のポイントを理解している(乳幼児の感情の発達と、社会性の発達理論について理解している)	予習: テキストp58-67を読み、今日のポイントを確認する。 復習: おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	身体的機能と運動機能の発達 身体的機能と運動機能の発達について理解する	講義 ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	今日のポイントを理解している(身体・運動機能の発達的基础について理解している)	予習: テキストp68-77を読み、今日のポイントを確認する。 復習: おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する。 *PCRシートはgoogle classroom及びgoogle formで実施・配布する予定です。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	認知の発達1 乳児期 乳児期の認知の発達について理解する	講義 ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	今日のポイントを理解している(主に乳児期の発達について理解している)	予習: テキストp78-89を読み、今日のポイントを確認する。 復習: おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	認知の発達2 幼児期以降 幼児期以降の認知の発達について理解する	講義 ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	今日のポイントを理解している(幼児期以降の発達について理解している)	予習: テキストp90-99を読み、今日のポイントを確認する。 復習: おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する。 *PCRシートはgoogle classroom及びgoogle formで実施・配布する予定です。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	言語の発達とコミュニケーション1 前言語期言語の発達として、言語の前の時期について理解する	講義 ペアワーク・ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	今日のポイントを理解している（主に言葉の前の時期を理解している）	予習：テキストp100-109を読み、今日のポイントを確認する。 復習：おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	言語の発達とコミュニケーション2 言語期言語の発達とコミュニケーションについて、言語期を理解する	講義 ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	今日のポイントを理解している（主に言語の習得期について理解している）	予習：テキストp110-116を読み、今日のポイントを確認する。 復習：おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する。 *PCRシートはgoogle classroom及びgoogle formで実施・配布する予定です。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	発達に偏りのある子どもの理解と支援 発達に偏りのある子どもについてと支援方法について理解する	講義 ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	今日のポイントを理解している（発達障害や特別支援教育などについて理解している）	予習：テキストp118-130を読み、今日のポイントを確認する。 復習：おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	乳児期の学びにかかわる理論1 条件づけ 乳幼児の学びに関わる理論として、条件づけを理解する	講義 ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	今日のポイントを理解している（学びの理論や観察学習について理解している）	予習：テキストp132-141を読み、今日のポイントを確認する。 復習：おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	乳児期の学びにかかわる理論2 動機づけ 乳幼児の学びに関わる理論として、動機づけを理解する	講義 ペアワーク・ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	今日のポイントを理解している（動機づけや学習性無力感などについて理解している）	予習：テキストp142-151を読み、今日のポイントを確認する。 復習：おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	乳幼児期の学びを支える保育（オンデマンド） 授業全体のまとめと、乳幼児期に学びを支える保育について理解する	講義（オンデマンド） レポート作成（オンライン）	今日のポイントを理解している（これまでの授業を踏まえた乳幼児期の学びを支える保育について理解している）	予習：テキストp164-169を読み、今日のポイントを確認する。 これまでのポイントを確認する。 復習：おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	乳幼児期の学びの過程と特性 乳幼児期の学びのプロセスと特性について理解する	講義 ディスカッション レポート作成 レポートへのフィードバック	今日のポイントを理解している（子どものさまざまな学びと、レジリエンス、愛着などについて具体例を引用しながら理解している）	予習：テキストp152-163を読み、今日のポイントを確認する。 復習：おさらいテストを行う。分からなかった所をもう一度確認する	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力